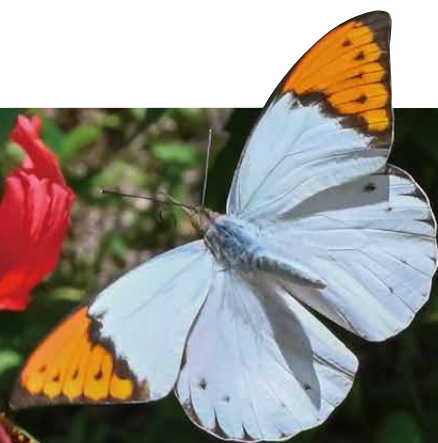




沖縄県・奄美諸島の チョウ



モニタリング調査のためのチョウの識別ガイド

チョウは自然環境の指標として優れており、チョウを調べることで、自然環境の変化を知ることができます。

チョウの種や個体数を継続的に調べるモニタリング調査は、イギリスで1970年代に始まり、その後、ヨーロッパ全域で取り組みが進められています。日本でも環境省のプロジェクトであるモニタリングサイト1000において調査が進められてきました。

日本チョウ類保全協会では、チョウのモニタリング調査をさらに多くの場所に広げるために、ヨーロッパにおけるチョウ類モニタリングのプロジェクトであるeBMSに参加し、普及活動を進めています。この識別ガイドは、モニタリング調査での種の識別に役立てるために作成しました。

チョウのモニタリングの調査方法をまとめたガイドブックも別に作成しています。

チョウはさまざまな環境に生息しており、モニタリング調査は、身近な場所で、どなたでも始めることができます。

関心をお持ちの方は、日本チョウ類保全協会までお問合せください。

チョウを調べることは、豊かな自然環境を守ることにつながります！

日本のチョウとその生息環境

日本には、約240種のチョウが生息しています。北海道から沖縄まで南北に長く連なり、3,000mを超える山地もあることから、気候に応じて様々な環境があり、多様なチョウが見られます。

チョウはもっとも身近な生きもののひとつで、都会～山地まで様々な環境に生息しています。チョウは種ごとに好む環境があり、それはチョウの幼虫の餌となる植物（食草）の生育場所と結びついています。チョウの生息環境は、大きく分けて、森林と草原の2つに分けられますが、森林や草原のタイプによって生息する種も異なってきます。また、森林と草原が接する林縁は独特の環境となり、チョウの生息環境として、重要な場所となっています。

そして、都会の公園、農地、河川、丘陵地、山地といった土地利用や地形、地域によって様々な環境が生まれ、それぞれの環境を好むチョウが生息しています。そのため、多くの種のチョウを観察するには、様々な環境を歩いてみるのが重要です。

本識別ガイドの利用方法

このガイドでは奄美諸島～八重山諸島で観察できるチョウ約100種を掲載しました。

南西諸島では、迷蝶（台湾やフィリピン方面から時々飛んできて一時発生するチョウ）も多いため、モニタリング調査時には、ここに掲載されていないチョウが見られる場合もあります。少しでも違うと思ったチョウは写真などを撮影して、より詳しい図鑑で調べてみましょう*。

このガイドは、以下のように作られています。

- ・チョウは科ごとに並べることを基本にしたが、色や模様が類似して初心者が混同しやすい種は近くに配列した。
- ・雌雄で特徴が大きく異なる場合は両方を掲載し、オス：♂、メス：♀の記号で表示した。
- ・成虫の大きさは、大、中、小の3段階で色分けして表示した。写真のチョウのサイズは原寸ではなく、縮尺も一定ではない。 小型：🦋 中型：🦋 大型：🦋
- ・種ごとに、観察できる環境を簡単に紹介した。
- ・特徴が似たチョウの識別ポイントは矢印と文章で表示。文中に雌雄が明記されていないものは、雌雄に共通した特徴である。
- ・種名の下の一バーは、成虫が観察される時期を大まかに表示。可能性のある時期として広めに表示している。
- ・チョウの分布が島ごとに異なる場合があり、島ごとの分布を大まかに各種の右上に以下のように示した。迷蝶など見つかる可能性があるものも広めに含めた。

■：奄美諸島 ■：沖縄諸島 ■：宮古諸島
■：八重山諸島 ■：大東諸島



モニタリング調査におけるチョウの識別

トランセクト法によるチョウのモニタリング調査は、歩きながら観察して行います。飛んでいて種の識別が困難な場合には、そのチョウが止まるまで追いかけたり、必要最小限の捕獲や写真撮影を行うこともあります。その際、カウントする範囲（両側合わせて10mの幅）をチョウが外れて飛んでゆく場合がありますが、一度カウント対象になった個体を識別のために追いかけることには問題はありません。ただ、その際に調査範囲外にいる他のチョウを数えないよう注意が必要です。



成虫が止まっても識別が難しい種もあります。キタキチョウ・ミナミキチョウ・タイワンキチョウの3種、ウスキシロチョウとウラナミシロチョウの2種、ヤマトシジミ・ホリイコシジミ・ヒメシルビアシジミ・ハマヤマトシジミの4種、リュウキュウアサギマダラなどのマダラチョウの仲間、イチモンジセセリの仲間などです。また、前述のキチョウ類などは飛翔していることが多くさらに識別が難しくなります。こうした種では、じっくりと観察し、さらに生息している環境、珍らしさなどを加味して識別しますが、識別が困難なことが多いでしょう。そうした場合には、「キチョウ類」「イチモンジセセリ類」などわかる範囲までを記録します。モニタリングのデータの報告では、このように、グループとして記録もすることができます。

これから本格的にチョウの観察を始める方へ

このガイドには、普通に見られるチョウの大部分が載っています。モニタリング調査をきっかけに、観察をはじめられた方もいるでしょう。最初は難しく感じても、慣れると識別できるようになってきます。

- まずは、このガイドを繰り返し眺めましょう。ある程度の種のチョウが頭に入っていると、野外で観察した時に、すぐに名前が出てきます。
- 年間で、住宅地の周りでも30種程度のチョウが観察できます。森林地域に行くと、住宅地の周りとは異なる種を見ることができます。
- 模様が似ているチョウの識別は、最初は難しいものです。そのため、わからない種に出会ったら写真を撮影して、家に戻ってから調べるとよいでしょう。これを繰り返すことで、名前がわからないチョウが確実に減っていきます。
- チョウはグループや種により飛び方や飛ぶ高さ、飛ぶスピードなどに特徴があります。翅の色や模様だけではなく、その他の特徴についても観察してみましょう。
- チョウの観察会に参加するなど、チョウ類の識別に詳しいベテランの方と一緒に野外を歩きながら教わることも、識別習得の早道となります。

※日本チョウ類保全協会編「増補改訂版 フィールドガイド日本のチョウ」（誠文堂新光社発行）は、ほぼすべての種が掲載されており、おすすめです。

住宅地や農地(ミカン畑)
森林に多い。八重山では稀

森林、林縁、沖縄島では
北部に多く中南部では稀



尾はない ♂

赤い斑紋



♀

♀は白い
斑紋

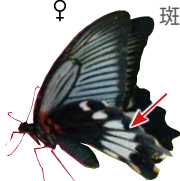


♂

♂は白斑



♀



♀で稀に
尾あり

ナガサキアゲハ *Papilio memnon*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



クロアゲハ *Papilio protenor*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



住宅地や森林、沖縄島では北部に
多く中南部では稀、
八重山でも極稀に見られる



住宅地や林縁、
少ない

アゲハ *Papilio xuthus*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



黄白斑が
目立つ



モンキアゲハ *Papilio helenus*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



住宅地～森林、もっとも普通



♂, 白帯型 ♀



赤班型 ♀



♂, 白帯型 ♀

赤班型 ♀



シロオビアゲハ *Papilio polytes*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12





オキナワカラスアゲハ *Papilio okinawensis*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

住宅地～森林。道路沿いにも多い

宮古島♀



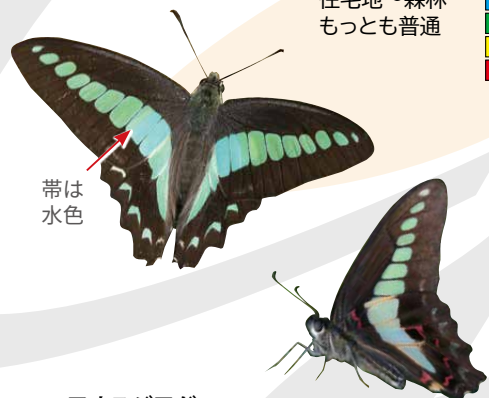
♀
太く
半月状

体は
赤色の模様

ジャコウアゲハ *Atrophaneura alcinous*

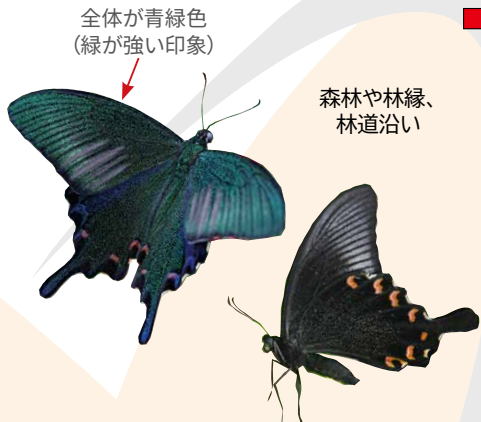
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

住宅地～森林
もっとも普通



アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



ヤエヤマカラスアゲハ *Papilio bianor*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

住宅地～森林。
道路沿いにも多い。
沖縄島では北部に多い



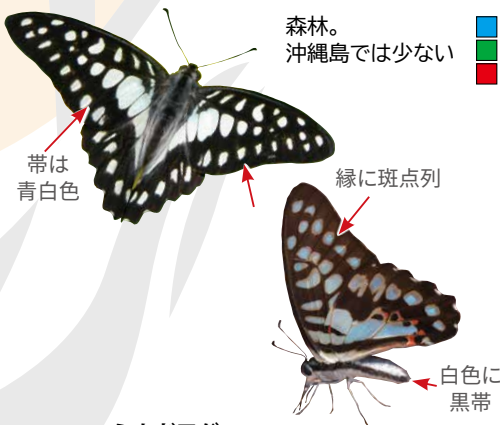
円形で
鮮赤色

鮮赤色

ベニモンアゲハ *Pachliopta aristolochiae*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

森林。
沖縄島では少ない



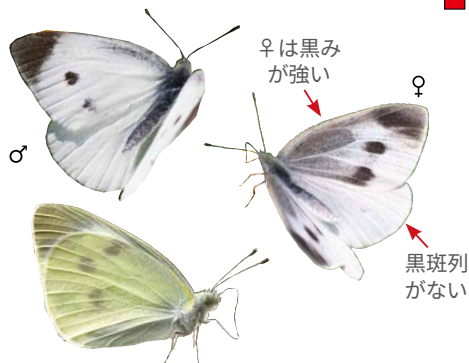
ミカドアゲハ *Graphium dosoon*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

農地周辺や住宅地。
夏は少ない



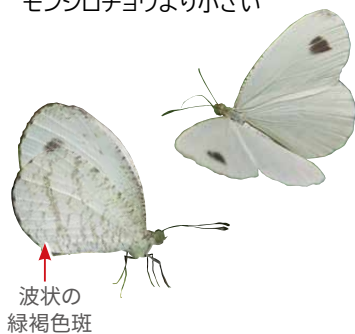
主に与那国島。飛来による一時発生。
夏にはほぼ見られなくなる



モンシロチョウ *Pieris rapae*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

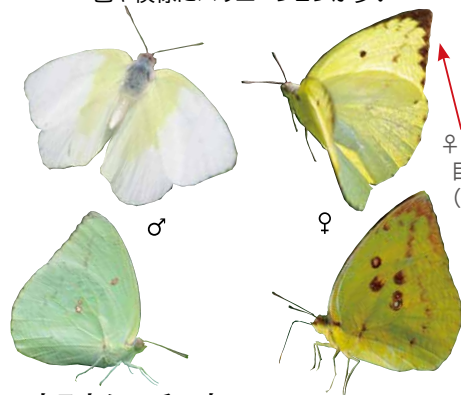
森林・林縁。低いところを
ゆっくりと飛ぶ。
モンシロチョウより小さい



クロテンシロチョウ *Leptosia nina*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

住宅地、林縁など。個体数は多い。
色や模様に変異が多い



ウスキシロチョウ *Catopsilia pomona*

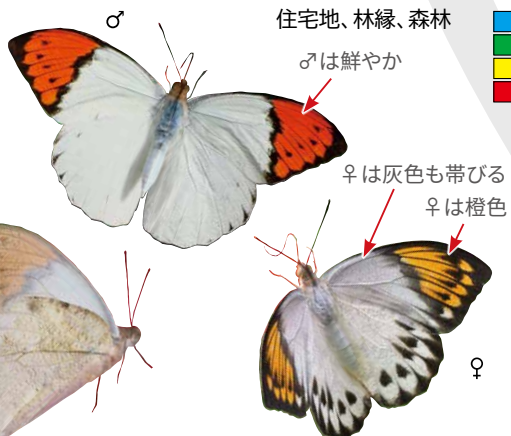
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



タイワンモンシロチョウ *Pieris canidia*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

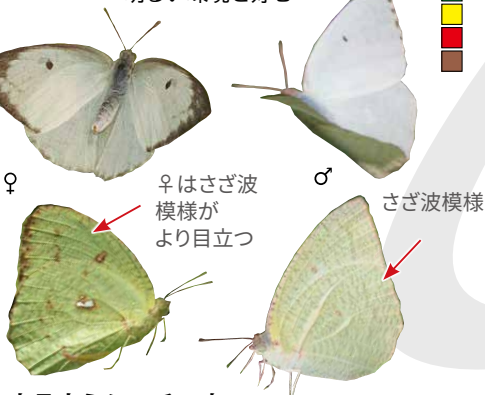
住宅地、林縁、森林



ツマベニチョウ *Hebemoia glaucippe*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

住宅地や公園、草地など
明るい環境を好む



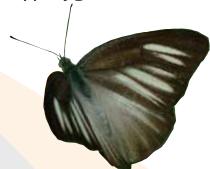
ウラナミシロチョウ *Catopsilia pyranthe*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

住宅地・林縁。主に与那国島。
沖縄島でも稀に見られる



♂



真珠光沢



♂は黒縁がない。尖る

林道や林縁。迷蝶。
集団で飛来することがある



♀

♀は凸凹の黒帯

尖る



♂は黄色



♀はほぼ白色

タイワンシロチョウ *Appias lyncida*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



カワカミシロチョウ *Appias albina*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



住宅地、林道、農地



♂は黒縁

♂



♀

低温期型



♂



♀

黄色

ナミエシロチョウ *Appias paulina*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



森林、林縁、農地、
公園、住宅地

森林、林縁、農地、
公園、住宅地



変異が大



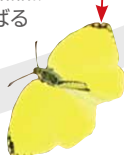
突出しない

不明瞭な黒点が散らばる

黒帯がほぼ消失



♂



低温期型



♂



低温期型

キタキチョウ *Eurema mandarina*

ミナミキチョウ *Eurema hecabe*

モンキチョウ *Colias erate*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



森林、林縁



突出

突出

2つ
キタキチョウと共通

丸い

3つ

低温期型

タイワンキチョウ *Eurema blanda*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

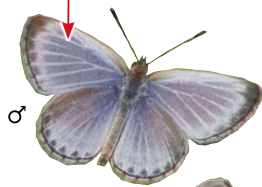
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

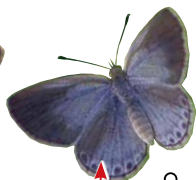
※ キタキチョウとミナミキチョウを識別することは非常に困難。キチョウ類として記録する。

白みを帯びる

住宅地、公園、草地、農地、
林縁。もともと普通



♂



♀



青色部の
面積は
季節変動あり

裏面では
区別が難しい



ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



大東島地域のみ。
住宅地、公園、草地、農地、林縁



♂

紫が強い



♀

大東島は
ヤマトシジミ
ハマヤマトシジミ
ヒメシルビアシジミ
の区別に注意

ハマヤマトシジミ *Zizeeria karsandra*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



住宅地、公園、草地、農地、林縁

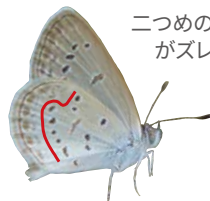


♂



♀

二つめの黒点
がズれる



低温期型

ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



住宅地、公園、草地、農地、林縁。
迷蝶。非常に小型



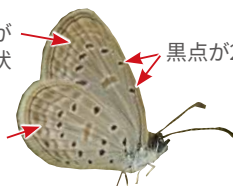
♂



♀

2列目が
線状

黒点が2つ

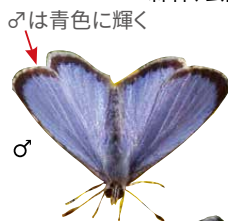


ホリイコシジミ *Zizula hylax*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



森林、公園、住宅地



♂



♀

♀は紫青色で
黒縁は広い



裏はわずかに
灰色み

黒点は
ジグザグに並ぶ

ヤクシマルリシジミ *Acytolepis puspa*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

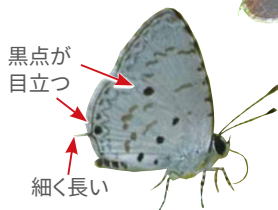


森林、林縁



黒点が
目立つ

細く長い



低温期型

タイワンクロボシシジミ *Megisba malaya*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



住宅地、公園、農地。多い

斑紋周りの白条が
はっきりする

黒点が目立つ

低温期型
全体的に灰色

クロマダラソテツジミ *Chilades pandava*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



草地、公園、住宅地、農地

♂

♀

波模様
白色帯

少しピンクみがある

ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



農地、住宅地、草地、林縁、森林

♀は淡青色



光沢の強い青

波模様が
細かい

波模様
なし

ルリウラナミシジミ *Jamides bochus*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



青白色

林縁、農地、住宅地。

シジミチョウの中では大きめ



波模様が太い

波模様なし

シロウラナミシジミ *Jamides alecto*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



青褐色

森林、林縁、公園



波模様
あり

♀ 低温期型

アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



♂は淡青色

林縁、草地。明るい環境を好む。迷蝶



波模様
なし

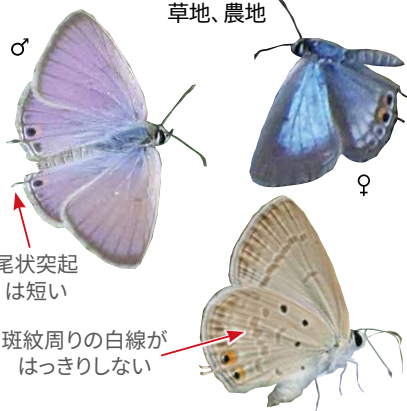
黒点あり

ウスアオナガウラナミシジミ
Catochrysops panormus

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



草地、農地



尾状突起は短い

斑紋周りの白線がはっきりしない

オジロシジミ *Enchrysops cnejus*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

すごく小さい。
迷蝶。
与那国、西表島。
草地

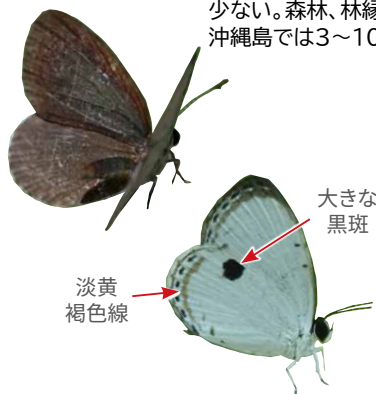
オレンジと銀色の
斑紋が特徴



台湾ヒメシジミ *Freyeria putli*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

沖縄島と西表島のみ。
少ない。森林、林縁。
沖縄島では3~10月



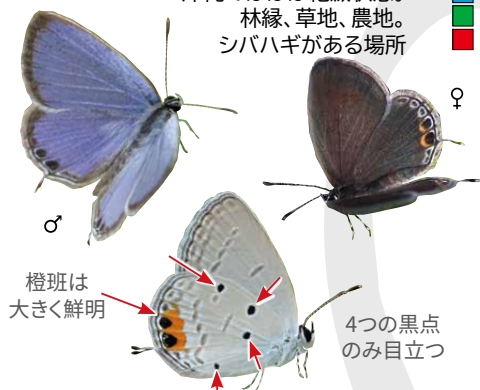
淡黄褐色線

大きな黒斑

リュウキュウラボシジミ *Pithecops corvus*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

沖縄ではほぼ絶滅状態。
林縁、草地、農地。
シバハギがある場所



橙斑は大きく鮮明

4つの黒点のみ目立つ

台湾ツバメシジミ *Everes lacturnus*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

♂は濃紫色 林縁、山道、森林

♀は暗褐色



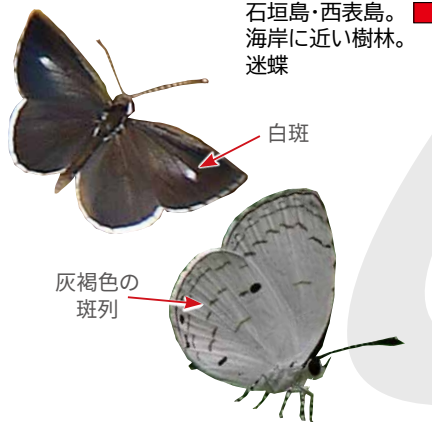
♀は黄色みを帯びる

♀通常は無尾

ヒメウラナミシジミ *Prosotas nora*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

石垣島・西表島。
海岸に近い樹林。
迷蝶



白斑

灰褐色の斑列

ヒメウラボシジミ *Neopithecops zalmora*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

奄美諸島

沖縄諸島

宮古諸島

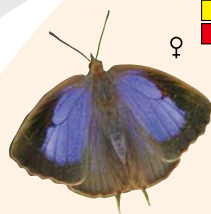
八重山諸島

大東諸島

森林、林縁



森林、公園。
秋のみ見られる地域もあり



尾状突起

斑紋は明瞭



斑紋はやや不明瞭

やや突出

ムラサキシジミ *Arhopala japonica*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



ムラサキツバメ *Narathura bazalus*

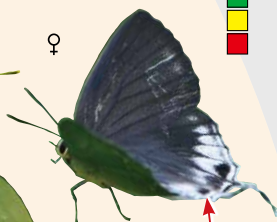
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



森林、林縁。夕方に活発



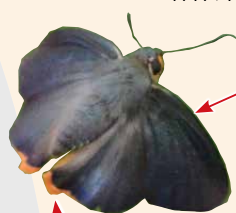
♂



♀



森林、林縁。沖縄島地域では
冬季は少ない



暗い青緑色

赤橙斑が目立つ



赤橙斑が目立つ

セセリチョウ科

草緑色

♀には白帯

イワカワシジミ *Artipe eryx*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



アオバセセリ *Chaoaspes benjaminii*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



森林、林縁、公園、住宅地。
普通



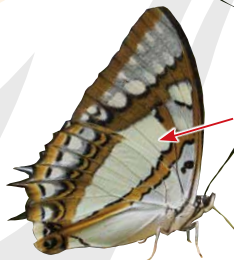
♂



♀

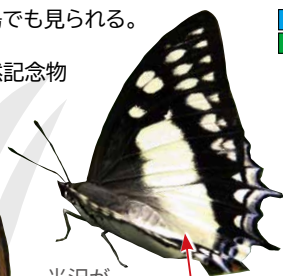


最近では奄美大島でも見られる。
森林、林縁。
沖縄県指定の天然記念物



光沢がある

中央部は
黄白帯



タテハチョウ科

イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas*

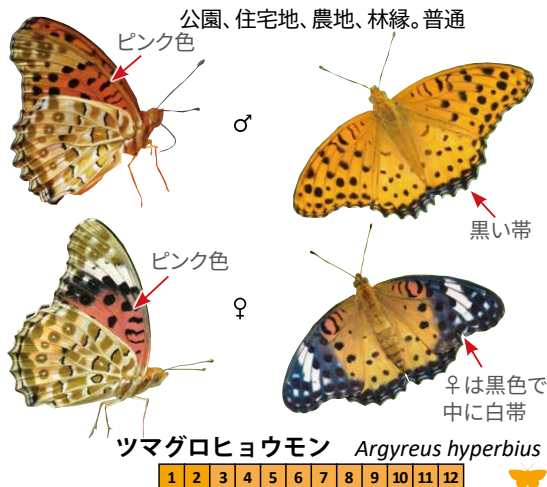
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



フタオチョウ *Polyura weismanni*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

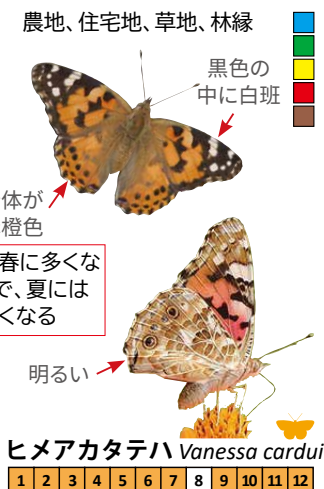
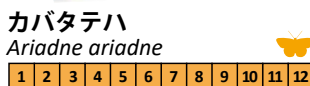
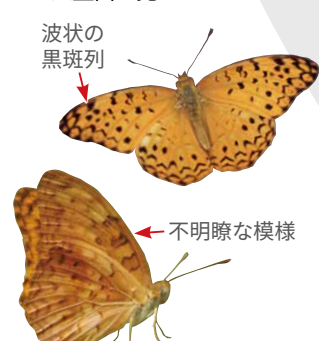
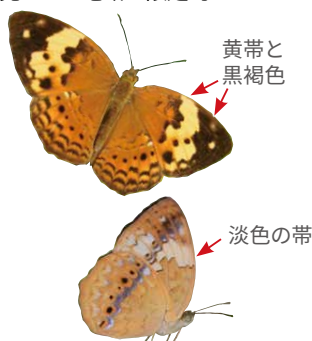




海岸に近い森林、林縁。
見られる地域は限定的

林縁、農地、住宅地。
最近は減少傾向

公園、住宅地、林縁。迷蝶で
主に八重山で見られる





林縁、草原、農地、公園。
迷蝶



翅脈部が黒く太い
草原、農地、
林縁。普通

スジグロカバマダラ

Danaus genutia

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



森林、林縁。迷蝶。
近年は減少傾向



森林、林縁、農地、公園



突出



複雑な
模様

3本の橙色帯

キミスジ

Symbrenthia lila

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



草原、農地、住宅地、公園

鮮やかな橙色



夏型



秋型

大きな眼状紋
が目立つ



タテハモドキ *Junonia almana*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



テングチョウ

Libythea lepida

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



ここが長い

ウラギンシジミ

Curetis acuta

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



森林、農地



♂



♀

裏は銀白
色で一樣



シジミチョウ科



♂

森林、林縁、公園。不明瞭な黒線
迷蝶



赤褐色
～茶褐色

♀

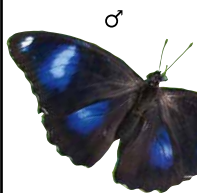
眼状紋
が並ぶ

♀は色
が薄い

イワサキタテハモドキ *Junonia hedonia*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----





♂

林縁、草原、農地、公園。
夏から秋にかけてが多い。迷蝶

♀大陸型



♀フィリピン型

♀には様々な
タイプがある

♀赤斑型



リュウキュウムラサキ *Hypolimnys bolina*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



♂は青く
光らない

森林、林縁。
八重山では夏～秋
によく見られる。
迷蝶



♀は青紫色
の光沢



2本の
白点列

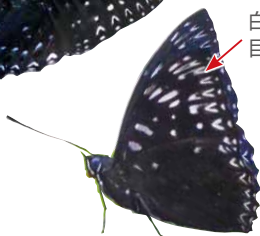
ヤエヤマムラサキ *Hypolimnys anomala*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



青緑色に輝く

森林、林縁。
山がちな広葉樹林



白斑が
目立つ

スミナガシ *Dichorhiza nesimachus*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



森林、林縁。
薄暗い湿った場所
大型

沖縄県指定の
天然記念物



コノハチヨウ *Kallima inachus*

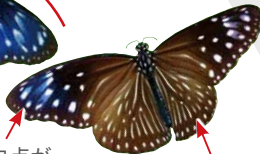
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



翅型は横長

森林、林縁。普通

♂は青色が広い



♀は白点が
目立つ

♀は多数の
白線



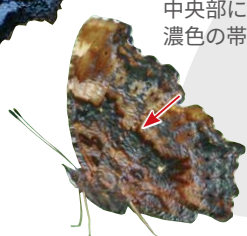
♂

ツマムラサキマダラ *Euploea multiciber*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



森林、林縁、公園、
住宅地



中央部に
濃色の帯

青色の帯

ルリタテハ *Kaniska canace*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



草原、農地、住宅地、公園

♀の地色には
バリエーションがある

♂



♀



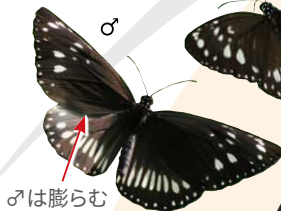
♀



♀

♀は眼状紋
が大きいアオタテハモドキ *Junonia orithya*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

■ 森林、林縁。迷蝶。
■ 記録数は少ない

♂は膨らむ



♀

白斑は
帯状シロオビマダラ *Euploea camaralzeman*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

■ 森林、林縁。迷蝶。

近年では沖縄島でも見られている

♂は強く丸みを
帯びる

♀

表後翅
にも白青点♀の翅形はツمامラ
サキマダラに似るが、
後翅に白条がないマルバネルリマダラ *Euploea eunice*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

■ 森林、林縁。迷蝶。

西表島や石垣島で近年多
くみられている。

今後は沖縄島も要注意



♂

マダラチョウに比べて
翅形がギザギザ

♀

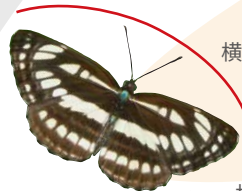
裏面には
さざ波模様ルリモンジャンメ *Elymnias hypermnesra*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

■ 森林、林縁、公園。普通

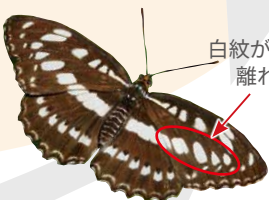
■ 森林、林縁、農地、公園

■ 森林、林縁。滑空飛行をする



横長

橙色

黒い縁の
ある白斑白紋が小さく
離れる明るい
橙色白斑の
中に黒点

♂

比較的
大型

♀ 橙褐色

縁取
りは不
明瞭リュウキュウミスジ
Neptis hylas

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

シロミスジ
Athyma perius

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

ヤエヤマイチモンジ
Athyma selenophora

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

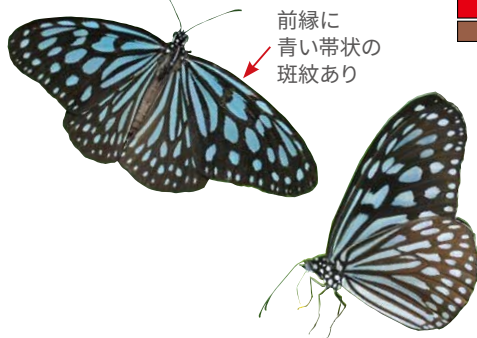


アサギマダラ *Parantica niponica*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



森林、林縁、農地。
最普通種のマダラチョウ



リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



森林、林縁、公園、住宅地。
喜界島でも見られる。
宮古島は非常に少ない

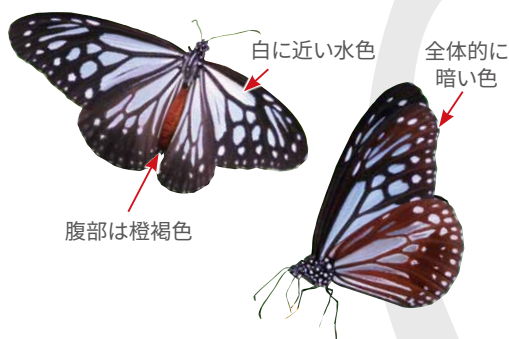


オオゴマダラ *Idea leuconoe*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



森林、林縁。迷蝶とされるが、
西表島などでは多い。
稀に沖縄島でも観察される

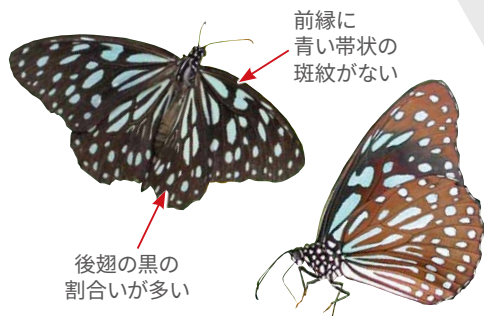


タイワンアサギマダラ *Parantica swinhoei*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



森林、林縁。迷蝶。
沖縄島などでも稀に記録がある。
このガイドに未記載の類似種が多いので注意



ウスコモンマダラ *Tirumala limniace*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



森林、林縁。
高いところを飛ぶ。
近年では沖縄島でも
見られている



アカボシゴマダラ *Hestina assimilis*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



森林、林縁



森林、林縁



森林、林縁



白毛の縁が目立つ

縁毛は目立たない

白帯が目立つ

白色部あり

白色部が混ざる

マサキウラナミジャノメ

Ypthima masakii

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ヤエヤマウラナミジャノメ

Ypthima yaeyamana

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

リュウキュウウラナミジャノメ

Ypthima riukiuana

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

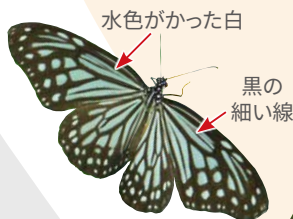
森林、林縁。

迷蝶だが与那国島など八重山では多い



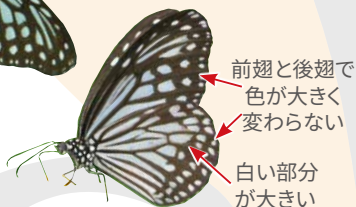
森林、林縁。

宮古島でも記録あり



水色がかった白

黒の細い線



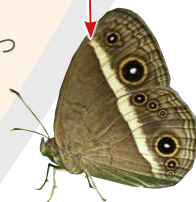
前翅と後翅で色が大きく変わらない

白い部分が大きい



眼状紋が目立つ

白帯が目立つ



ヒメアサギマダラ *Parantica aglea*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



リュウキュウヒメジャノメ *Mycalesis madjicosae*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



森林、林縁。竹林の周辺に多い



林縁、農地、住宅地。主に朝と夕方に活動



橙斑は内側で発達

白点は中央付近

濃淡が強い傾向

秋型 ♂

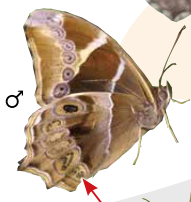
♀は白帯が明瞭

♀

夏型

さざ波

秋型 ♀



眼状紋が目立つ



迷蝶として稀に記録あり

一様に濃色



シロオビヒカゲ *Lethe europa*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



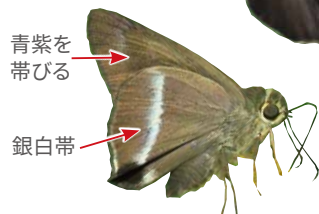
クロコノマチョウ *Melanitis phedima*

森林、林縁、住宅地

黒褐色で
♀は2つの黄白斑。
♂は無紋



♀



青紫を
帯びる

銀白帯

林縁、住宅地。
西表島のみ定着

濃茶褐色で
♂は無紋



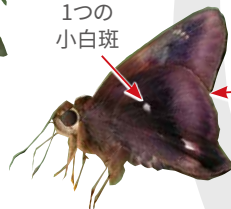
♂

♀は3つの
黄白斑



♀

1つの
小白斑



赤みを
帯びる

オキナワビロウドセセリ *Hasora chromus*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



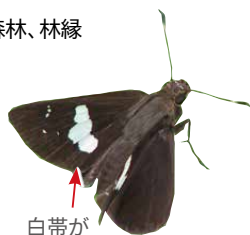
森林、林縁



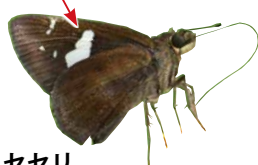
森林、林縁



林縁、農地、住宅地



白帯が
目立つ

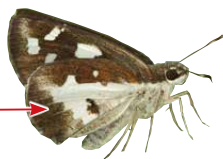


太い白帯

白斑が広がり
黒斑がある



白斑は
大きい



白斑が
広がる

クロセセリ *Notocrypta curvifascia*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



コウトウシロシタセセリ *Tagiades trebellius*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



オオシロモンセセリ *Udaspes folus*

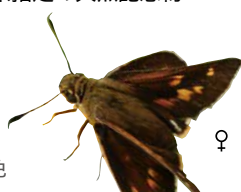
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



♂は茶褐色の帯

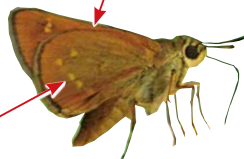
♂

山頂近くの竹林、林縁。
生息地は限定的。
沖縄県指定の天然記念物



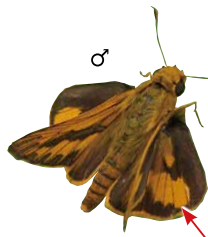
♀

橙褐色



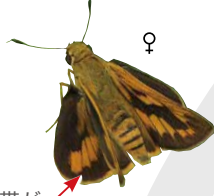
淡色の斑紋

♀は橙斑が
目立つ



♂

林縁、草原



♀

橙色帯が
目立つ



帯の斑紋
が現れる

アサヒナキマダラセセリ *Ochlodes subhyalinus*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



ネットアイアカセセリ *Telicota colon*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



奄美諸島

沖縄諸島

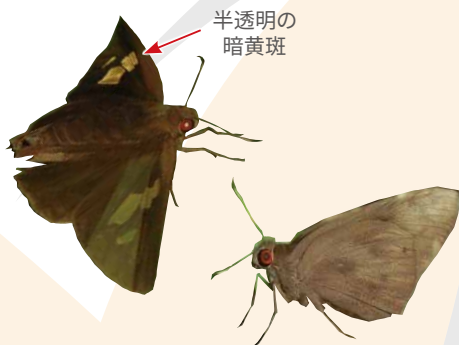
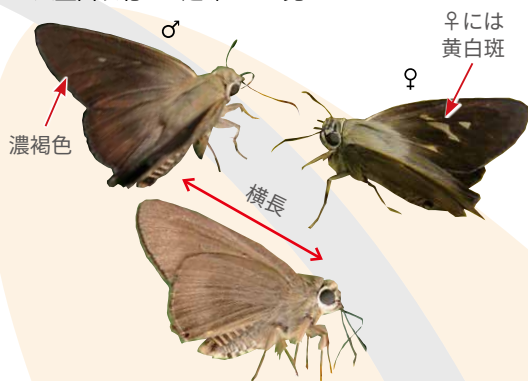
宮古諸島

八重山諸島

大東諸島

森林、林縁、住宅地。
八重山以北でも迷蝶として見られる

農地、住宅地。
バナナなどの近くを敏速に飛ぶ



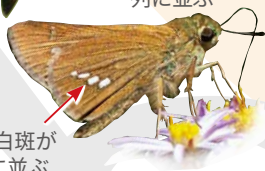
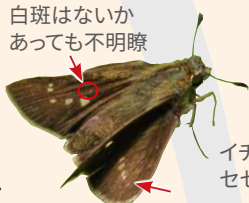
タイワンアオバセセリ *Badamia exclamationis*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

草原、農地、公園、住宅地
細長い
または不明瞭



林縁、草地、水田周辺。減少傾向で、奄美では近年は記録がほとんどない
白斑はないか
あっても不明瞭



イチモンジセセリ

Parnara guttata

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

林縁、農地、公園、住宅地。
人里に普通。冬は少ない



ヒメイチモンジセセリ

Parnara bada

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

林縁、草原。個体数はかなり少ない。沖縄島や宮古島にも記録あり
白斑列が小さい



不明瞭



小さい白斑が弧状に並ぶ

チャバネセセリ

Pelipidas mathias

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

トガリチャバネセセリ

Pelopidas agna

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

バナナセセリ *Erionota torus*

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

林縁、草原、農地、公園、住宅地。
八重山では普通



白斑はないか
あっても不明瞭



3~4つが弧状

ユウレイセセリ

Borbo cinnara

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

林縁、公園、住宅地



横長

クロボシセセリ

Suastrus gremius

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Butterfly Conservation Europe (ヨーロッパチョウ類保全協会) と UK Center for Ecology and Hydrology (UKCEH: イギリス生態・水文学研究所) は、ヨーロッパのチョウ類モニタリングスキーム (eBMS) を設立し、ヨーロッパの様々な国で行われているチョウのモニタリングのデータを集積しています。すべてのデータはeBMSのデータベースで共有され、チョウの個体群の動向について解析されています。これらのデータは、チョウと生息地の保全のための基本情報となります。

日本チョウ類保全協会では、チョウのモニタリングのプロジェクトを2022年より開始し、多くのボランティアの皆さまの協力を得て、日本の様々な環境・地域のチョウのデータを集積しています。これらのデータは、生物多様性の保全のために活用します。

チョウのモニタリング調査にご協力いただける場合には、下記までご連絡ください。現在、eBMSのウェブサイト (<https://butterfly-monitoring.net>) は日本語でも利用でき、データはこのサイトに窓口を集積されています。

特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会

〒140-0014 東京都品川区大井4-1-5-201 TEL/FAX 03-3775-7006 携帯TEL 080-5127-1696

Email : jbc@savebutterflies.jp

<https://www.savebutterflies.jp>

この識別ガイドは、eBMSのデザイン提供を受け、地球環境基金の助成を得て作成されました。



モニタリング調査のためのチョウの識別ガイド 沖縄県・奄美諸島のチョウ

デザイン: Eveline van der Jagt・Cristina G. Sevilleja (eBMS)

作成: 日本チョウ類保全協会: 中村康弘・益永 葉・清水郁子

琉球大学: 平良渉・島袋美由紀

参考文献: 日本チョウ類保全協会編「フィールドガイド日本のチョウ」
(誠文堂新光社発行)

発行日: 2024年12月1日

※地域によって見られるチョウの種が異なることから、この識別ガイドは地域ごとに作成しています。

成虫の見られる時期 (月単位)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

成虫のサイズ:



小型



中型



大型

性別:

♂ オス

♀ メス

識別ポイント:



UK Centre for
Ecology & Hydrology



日本チョウ類保全協会
Japan Butterfly Conservation Society

